

地域人材ネット

「参加」から「参画」、「一過性」から「継続性」を重視した ワークショップの実践

中村 洋司 (なかむら ようじ)

株式会社 ジャパンインターナショナル総合研究所
都市計画事業部 主任研究員



○ 登録者情報

所在地

京都府京都市

略歴

京都市出身
2002年 株式会社 ジャパンインターナショナル総合研究所 入社

都道府県及び全国地方公共団体に関する各種調査及び各種計画策定業務のほか、ワークショップ(ファシリテーター)、研修・講座の実施、会議運営等に携わる。50を超える自治体で、延べ100を超える多種多様なワークショップを展開

○「参加」から「参画」、「一過性」から「継続性」を重視したワークショップの実践

取組の内容

【①京都府文化カプロジェクト・ワークショップ】

東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けて、京都の文化力を発信するため「東京キャラバン in 京都」に出演した球乗り型ロボット(村田製作所チアリーディング部)の衣装等をデザインするワークショップを全5回開催し、最後は商業施設において公開プレゼンテーションを実施しました。ワークショップには府民だけではなく、美術工芸家や職人等にも参加していただきました。

【②「第2次糸島市長期総合計画」策定にかかる高校生未来会議・まちづくり市民委員会ワークショップ】

「第2次糸島市長期総合計画」の策定にあたって、これからの糸島市の姿を高校生・市民と考えるために、2か年に渡り、独自の「ワールド・カフェ」方式による語り合いを中心としたワークショップを実施しました。

【③「上毛町コミュニティ計画」運営支援業務のための住民ワークショップ】

「第2次上毛町コミュニティ計画」の推進に向け、「重点プロジェクト」の具体的な内容を検討するワークショップを全5回実施し、最後はこれまでのワークショップ成果を発表する場として、「まちづくりフォーラム」を開催しました。

【④「元気に輝く上城井づくり支援業務」にかかるワークショップ】

福岡県築上町の上城井地区において、「モノづくり部会(特産品開発)」と「コトづくり部会(歴史・伝統文化の継承)」に分かれ、各3回計6回のWSを開催しました。

【⑤「第2期橋本市子ども・子育て支援事業計画」策定にかかるワークショップ】

理想の子育て環境を考えるために、独自の「ワールド・カフェ」方式による語り合いを中心としたワークショップを実施しました。



実績

【①京都府文化カプロジェクト・ワークショップ】

参加者のアイデアを「衣装」というかたちにするワークショップを行いました。結果、衣装部門8作品とパーツ部門7作品をワークショップを通して作成することができました。最終的に衣装を纏った球乗り型ロボット(村田製作所チアリーディング部)は、京都府文化観光応援大使に就任するまでに至りました。

(<https://www.murata.com/ja-jp/about/newsroom/news/company/csrtopic/2018/0719>)

【②「第2次糸島市長期総合計画」策定にかかる高校生未来会議・まちづくり市民委員会ワークショップ】

高校生未来会議は全2回、まちづくり市民委員会は全3回実施しました。このまちづくり市民委員会は、令和元年度も規模を拡大し、継続的に実施しています。

【③「上毛町コミュニティ計画」運営支援業務のための住民ワークショップ】

継続的にワークショップを実施することで、5つの住民主体プロジェクトが立ち上がりました。また、参加者が主体的かつ任意でワークショップに取り組めるよう、意識レベルの段階に応じた独自の「階層別ワークショップ」を展開しています。

【④「元気に輝く上城井づくり支援業務」にかかるワークショップ】

「コトづくり部会」では、歴史・伝統文化の継承のあり方を検討し、「モノづくり部会」では特産品開発(味噌づけ・あられ等)を行い、試作複数品及び特産品のパッケージデザイン(試作品3種)を、ワークショップを通じて作成しました。

【⑤「第2期橋本市子ども・子育て支援事業計画」策定にかかるワークショップ】

参加者からは、幅広い分野から意見を抽出することができ、関連部署にも情報を共有することができました。なお、このワークショップについては、参加者から継続的な実施を望む声があがっています。

工夫した点や苦勞した点

取組内容全体に言えることとして、ただ単にまちの課題等を検討するのではなく、参加者の想いやアイデアをかたちにするワークショップを実施しています。

そのため、ワークショップでは、参加者との役割分担(主体性)や作業段取りの明確化、到達イメージの共有、継続的な実施を提案するなど、分かりやすいファシリテーションに努めることを心掛けています。

ひとことPR

コンサルティング業務の経験を通した、様々なまちづくり分野に関する支援が可能です。

特にワークショップでは、「楽しさ」と「継続性」が絶対条件と考えています。また、実効性を重視するため、参加者の主体性や一体感の醸成、仲間づくり・担い手の育成等の要素も含んだ「また参加したい」と思えるワークショップを実施します。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(まちづくり分野全般)
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

(株)ジャパンインターナショナル総合研究所	https://ji-institute.com/

連絡先

メールアドレス	y-nakamura〔アットマーク〕n-shuppan.co.jp	その他	
---------	-----------------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。